

「おかえり」から始まる

学童保育指導員の しごと

ここは「ただいま〜」と明るい声の響く、
小学生が放課後に帰ってくる場所。学童保育指導員は
こどもたちの日々をすぐそばで見守っています。

問合先 人事課 ☎072・620・1601



学童保育指導員とは

主に共働き世帯などの小学1〜3年生を対象に、放課後や長期休業期間に適切な遊びや安心できる生活の場を提供する学童保育。学童保育指導員はそこで、こどもたちの健やかな成長を支えます。さまざまな経験を持つ人が、自分の得意なことを生かし指導員として働いています。



こどもと保護者に聞く /

指導員さんって
どんな人？



一人だと
声をかけて
くれるそうです

分からない
宿題のヒント
をくれる



凝った工作を
してくれて
喜んでいます

あやとりや
手芸が
上手だよ！

めっちゃ
面白い人



たくさん
ほめて
くれる！



🕒 学童保育の1日の活動例

土曜日・長期休業日

- 8:15 保育室に集まりしだい宿題や自習
- 9:00 室内遊びや季節の行事など
- 12:00 持参した弁当で昼ご飯、片づけも
- 13:00 お昼寝など
- 14:00
- 15:00 おやつの時間、食べた後はテーブル拭きも
- ▶◀ 体育館や外での遊び。全員で一つの遊びをすることも
- 17:00 帰りの会→集団下校
- 19:00 延長保育

平日

授業終了後に保育室へ

宿題や自習が終われば、室内遊び

各自食べ切れる量を持参し、おやつ

の時間 外遊びと室内遊びに分かれて過ごす

帰りの会→集団下校

延長保育



「挑戦する楽しさや喜び」を生み出せる場所に



3年目

あや
阿野指導員

指導員になった
きっかけ

小学校の講師やスポーツのコーチなど、こどもに関わる仕事をしてきました。午後中心の勤務形態が自分の生活リズムと合っていたので、指導員として力を発揮したいと思いました。

私も小学生の時に市の学童に通った経験があります。消極的だった私を、当時の指導員さんが上手に導いてくれ、成功することができたけん玉の発表会のことを今でも覚えています。今度は私が、こどもたちに「挑戦してよかった」と思える機会をたくさんつくりたいと思っています。

他者への思いやりや「自分もこうなりたい」と行動することなど、異年齢の集団生活でこそ育まれる力があります。こども主体で活動する時に見える、皆の成長を常に楽しみにしています。

童心に返って
こどもたちと
けん玉を練習中！



資格よりも大切なのは、向き合う情熱

指導員になった
きっかけ

自身の子育てがひと段落した後、幼児向けの子育て支援ボランティアや、他市の学童保育でアルバイトを経験。その後、市の正規職員として働けることに魅力を感じ転職しました。

遊びながらの
会話で本音を
キャッチ



情熱はあっても、専門の資格がない。それでもチャレンジできるのがこの仕事です。それは多様な視点や経験を生かせるから。対応に正解はないので、他の指導員の力も借りながら、こども一人ひとりと向き合うことを大切にしています。

保護者の方から「先生がいたから安心して仕事を続けられた」と言われた時は、役に立てた喜びで胸がいっぱいになりました。こどもたちの大切な3年間に笑顔を届け、送り出してから飛躍を願う日々は、何物にも代えがたいやりに満ちています。



8年目

藤本指導員

「こどもが好き！」「やってみたい」を生かします

無資格からパート
タイムを経験して
正規職員になる
指導員もいます

正規職員は保育・教育系の資格所持者、大学等で特定の学科を専修して卒業した人のほか、無資格でも一定の経験を積むことで受験が可能です。正規職員・会計年度任用職員(パートタイム)の募集情報は市HPで随時案内しています。夏季期間の会計年度任用職員も募集中。詳細は16ページをご覧ください。

ぜひ仲間になっ
て
ください



採用・募集情報は
こちら

